

注目議案

令和4年度 決算

◆町民税・固定資産税の増収で財源カバー!!

歳出 190億48万円、歳入 204億4,004万円

◆小中学校ウォーターサーバー整備

各小中学校に1台

●一般質問

7人の議員が登壇

●委員会レポート

福祉産業建設委員協議会

幸田中央公園の整備概要 他

総務教育委員協議会

企業誘致に向けた施策案 他

DX推進特別委員協議会

デジタル化(DX)推進の取り組み始まる

●あい・らぶ・マイタウン



幸田町議会HP

こんにちは  
幸田  
ぎがい



4年ぶりに通常開催した体育大会(南部中学校)

# 令和4年度 決算

# 町民税(個人及び法人)・固定資産税 の増収で財源カバー!!

**歳入** 町税は納税義務者の増加により、個人町民税、固定資産税が増収。法人町民税も自動車関連企業の増益により増収。町税は前年度比4億8997万円増収となった。

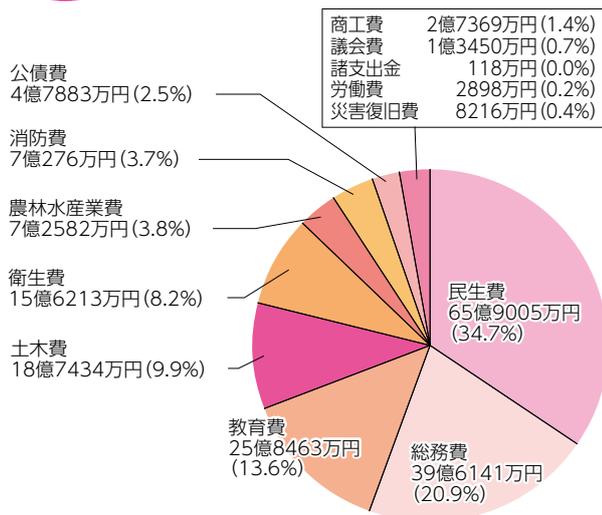
町税以外では、繰入金、繰越金及び地方交付税交付金などが、前年度比4億3134万円増加した。

**歳出** 幸田南部町づくり交流拠点施設整備事業、旧甲田薬局改修事業などで3億9445万円の増加、都市施設整備事業での用地購入費などで3億2505万円増加が主なもの。

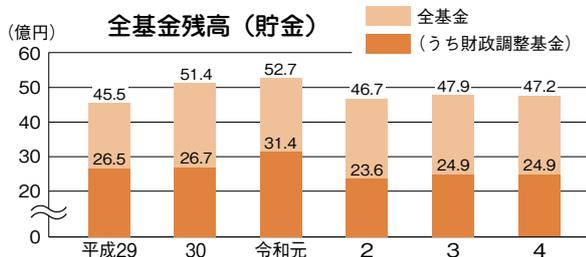
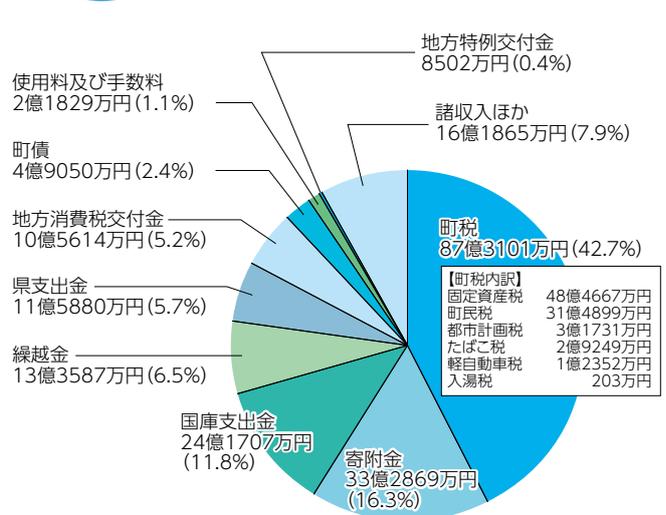
令和4年度の決算総額は、一般会計と特別会計を合わせて歳入279億5570万円、歳出263億9136万円で、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支は14億6983万円の黒字となった。

## 一般会計の決算額

**歳出 190億48万円**



**歳入 204億4,004万円**



令和4年度決算は、町税全体で増収、ふるさと寄附金は、前年度に近い収入となった。しかしながら、様々な歳出の増加要因も多く、予断を許さない状況が続くと思われる。コロナ禍から平常に戻りつつある中、的確な予算配分等を含め、適正な公金支出に心がけ、DX推進を始め、事務事業の在り方にも探求心を持ち、町の発展やより良い行政サービス提供のため、一層の職務に精励されたい。

令和4年度決算審査意見書

監査委員 大浦 裕  
黒木 一

# 決算特別委員会での主な審議

## 総務教育関係

・自転車用ヘルメット  
購入費補助金

**問** 令和4年度ヘルメット補助金利用者の内訳は。

**答** 65歳以上の利用者は44人、7歳以上18歳以下の利用者は517人。予算100万円に対し執行率88%。

・古民館ogiiの利用状況

**問** 令和4年度1年間の利用状況は。

**答** 354団体で4081人の利用があった。施設の利用率は約50%。

・デマンド型乗り合いサービス事業

**問** 令和4年度ちよいソコの利用実績は。

**答** 豊坂・深溝学区で実施。3081回

の利用。会員登録者は427人、実際の利用者は137人。会員数拡大が今後の課題。

・防犯カメラ賃借料

**問** 防犯カメラの賃借料341万円の内訳は。

**答** 中電のリースで設置の防犯カメラ75基の金額。従来の27基を加え、102基(目標100基)になった。

・地球温暖化対策実行策定計画

**問** 温室効果ガス2030年度46%削減をどうすすめるのか。

**答** 2019年の排出量73・8万トン、40%削減を達成。2030年までに残り6%、7・8万トン削減を目指す。

・在宅高齢者支援タフシー事業

**問** 令和4年度の利用者は501人、前年の253人から倍増した理由は。

**答** 自宅とJR3駅間を全額支援にしたためと思われる。  
**問** 利用条件を80歳からでなく75歳からに緩和できないか。  
**答** 80歳以上の利用率は17・8%と少ないため、今は利用率向上に努める。引き続き80歳以上で進めていきたい。

## 町民目線で事業推進を 吉本智明議員

町税は、大手自動車関連企業の増益、特別措置の縮小等により増収した。先人たちが築いた企業誘致、都市基盤整備の結果であり、本町の歳入の基本を押さえ増収に取り組んでいただきたい。また、ふるさと納税も制度がある以上は、町産品の魅力発信をしっかりと行い増収につなげていただきたい。

歳出では、町民目線により良い事業推進を。子供に対する投資は、本町の未来への投資、良い施策推進を。老朽化したインフラの修繕等に取り組み、町民に安心をお願いする。

賛成  
反対

討論



## 町民生活最優先の行政運営を 丸山千代子議員

不用額を多く生み出し13億円超の赤字となった。町民生活最優先の行政運営に転換を。ふるさと寄附をあてにした財政運営は破綻が生じる。

デジタル田園都市、マイナンバーは個人情報漏えいを危惧する。PFASの原因究明と汚染対策を。住民福祉の増進が行政の役割である。

※PFAS

【※PFAS】  
発がん性や免疫抑制など、健康への影響が指摘されている有機フッ素化合物。

## 一般会計・特別会計・企業会計の決算額と採決結果

| 会計区分     |              | 歳入         | 歳出        | 採決          |             |
|----------|--------------|------------|-----------|-------------|-------------|
| 一般会計     |              | 204億4004万円 | 190億 48万円 | 反対1：賛成14で認定 |             |
| 特別会計     | 土地取得         | 10億3274万円  | 9億6817万円  | 全員賛成で認定     |             |
|          | 国民健康保険       | 31億9554万円  | 31億8837万円 | 反対1：賛成14で認定 |             |
|          | 後期高齢者医療      | 5億2673万円   | 5億2575万円  | 反対1：賛成14で認定 |             |
|          | 介護保険         | 22億9169万円  | 22億3963万円 | 反対1：賛成14で認定 |             |
|          | 幸田駅前土地区画整理事業 | 9512万円     | 9512万円    | 全員賛成で認定     |             |
|          | 農業集落排水事業     | 3億7384万円   | 3億7384万円  | 反対1：賛成14で認定 |             |
| 企業会計(税別) | 水道事業会計       | 収益的収支      | 8億6014万円  | 7億 795万円    | 反対1：賛成14で認定 |
|          |              | 資本的収支      | 6830万円    | 3億5020万円    |             |
|          | 下水道事業会計      | 収益的収支      | 7億1200万円  | 6億8986万円    | 反対1：賛成14で認定 |
|          |              | 資本的収支      | 4億6173万円  | 5億4169万円    |             |

# 9月 議会の あらまし

会期 9月1日～9月27日

## 議案

- 条例の一部改正
- 幸田町災害派遣手当の支給に関する条例の一部改正など4件

## 補正予算

- 一般会計補正予算（第4号）
- 特別会計補正予算（4会計）

## 令和4年度決算認定

- 一般会計
- 特別会計（6会計）
- 企業会計（2会計）

## 人事案件

- 幸田町固定資産評価委員会の委員の選任

## 報告第4

- 健全化判断比率等について

- 陳情
- 1件を審議し、採択した。

## 最終日の追加議案

- 一般会計補正予算（第5号）

## 議員提出議案2件

- 採択した陳情に対して、国へ意見書を提出。（第4号）

- 幸田町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定（第5号）

以上議案を慎重審議し、全てを可決、認定、同意、採択した。

## 一般質問

7人の議員が町政全般に関する課題をただした。



楽しい学校給食

# 小中学校ウオーターサーバー整備 各小中学校に1台

一般会計補正予算（第4号）  
追加1億1829万2000円

**可決**

## 歳入（主なもの）

- 国庫支出金  
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4180万円

## 歳入（主なもの）

- 県支出金  
ラーケーション推進事業委託金 491万1000円

- 繰越金（前年度決算確定による）  
10億8635万5000円

## 歳入（主なもの）

- 繰入金（財政調整基金）  
減額10億1689万5000円

## 歳出（主なもの）

最近の食料費の高騰などによる、給食の質の低下抑制及び保護者負担

軽減のため、増加分を補助。

- 認定こども園等給食事業費支援（13施設） 1530万円

- 学校給食会委託料 1650万円

- ウオーターサーバー整備工事（小中学校9校） 134万7000円

町内各小中学校保健室に1台ずつ設置し、養護教諭が児童生徒の健康観察を行いながら使用する。

**問** ウオーターサーバー整備の目的は。

**答** 子どもたちの脱水による体調不良防止。

**問** ウオーターサーバーの使用方法は。

**答** 保健室に設置し、養護教諭の管理の下に使用する。

●長嶺コミュニティホーム建設用地  
購入費 1,073万3,000円

●高齢者ふれあいプラザ改修工事請  
負費 500万円

**問** 外構工事200万円の内容は。

**答** フェンス及び門の改良。

**問** 出入口が狭いが、安全対策は。

**答** 現場とよく協議する。

●里山林整備保全促進事業補助金  
1440万円

**問** 補助金の中で、竹等の粉砕機を  
2台としている根拠は。

**答** 複数の団体による申請を考えて  
いる。

●幸田北部地区住宅開発候補地選定  
業務 130万円

**問** 北部地域の人口増加に対する目  
標値は。

**答** 宅地開発の可能性の検討であり、  
現時点での目標数値などは考え  
ていない。

**幸田町会計年度任用職員  
の給与**

会計年度任用職員の期末手当の支  
給要件見直し。

**問** 期末手当の支給は。

**答** 令和6年度より支給で検討。

**問** 複数の任命権者とは、誰を指す  
のか。

**答** 町長、教育委員会、水道事業な  
どがある。

**問** 常勤職員への採用の道を開く考  
えはあるか。

**答** 採用試験を受けるのが基本であ  
る。年齢条件など緩和の可能性  
はある。

**岩堀住民広場整備工事**

新たに岩堀住民広場を整備する。

● 契約の相手方  
株式会社ニシオ

● 契約金額 8041万円

● 日程  
令和6年3月工事完了予定

**人事案件**

固定資産評価委員会の委員選任

任期 令和6年1月1日から3年

伊藤 光幸 氏（里区）

**同意**

**陳情**

定数改善計画の早期策定・実施と  
義務教育費国庫負担制度の堅持及び  
拡充を求める。

**採択**

一般会計補正予算（第5号）  
追加 1700万円

**可決**

幸田駅西第1駐車場一部用地の地  
主からの返還請求を受け、現状回復  
し返却するため。

**歳入**

● 財政調整基金繰入金

1700万円

**歳出**

● 借地原型復旧工事請負費（幸田駅  
西第1駐車場） 1700万円



活躍が期待される竹粉砕機

# 一般質問

# 7議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



## 一般質問事項

| 質問者   | 件名               | 頁  |
|-------|------------------|----|
| 鈴木 久夫 | 1 巨大地震隣人チームで安否確認 | 7  |
|       | 2 学校体育館にエアコンの設置を |    |
| 都築 幸夫 | 1 尾浜川を災害に強い河川整備を | 8  |
|       | 2 県道岡崎幸田線の歩道整備を  |    |
| 野坂 純子 | 1 森林サービス産業の進め方は  | 9  |
|       | 2 認知症対策で補聴器の補助を  |    |
| 長谷川 進 | 1 行政の徹底したムダ改善を   | 10 |
|       | 2 市街地の害獣駆除制度変更を  |    |
| 岩本 知帆 | 1 町内会・子ども会にDX導入を | 11 |
|       | 2 児童クラブ利用時間の拡大を  |    |
|       | 3 育休中は定数外とし職員確保を |    |
| 藤本 和美 | 1 小中学生のマスク着用の現状は | 12 |
|       | 2 安全な学校給食の考えは    |    |
|       | 3 LGBT理解増進法の運用は  |    |
| 田境 毅  | 1 避難所開設の課題解決策は   | 13 |
|       | 2 更なる産業・地域活性化を   |    |

議会傍聴記・質問議員の顔写真は別撮りしています。

5万人の市政を目指す幸田町の新しい政策を、新人議員がものづくりの経験を生かして夢を現実にして進めていく質問をした。いよいよ始まる町民から市民への合言葉が現実になる気がした。



やまだ きょうじ  
山田 恭二さん

5万人のまちづくり

その推進には企業と行政が連携して税収の確保が必須である。新しい住宅開発計画がされており、旧集落とのコミュニティの形成をどのように進めていくのか、官民一体で進めていくことを望み、人々の幸せを感じながら、農・工・商が連携した町づくりをしていくことで、町民から市民へと変化していくことを願うものであります。

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像

過去の議事録





鈴木 久夫 議員

# 巨大地震隣人チームで安否確認

## 町内の防災訓練に活動を広める



**問** 甚大な被害が発生する南海トラフ巨大地震に備えるため、食糧等の備蓄、隣人チームでの安否確認などが必要。災害関連死を生み出さない、避難所の環境改善が求められている。

**答** 住宅の耐震化や通学路沿いのブロック塀の除却状況は。建設部長▼耐震改修費補助は85件、除却費補助は35件。

**問** 激甚災害への危機管理、住宅耐震化など町民に周知を。

**答** 総務部長▼地区防災訓練、防災講話などで啓発する。

**問** 町の食糧等の備蓄量はどれだけか。

**答** 消防長▼非常食4万5000食、保水8200本、毛布2800枚を備蓄。

**問** 町の備蓄量は、非常に約1食である。家庭での備蓄が必要だが、その推進策は。

**答** 総務部長▼町の備蓄は少量、家庭内での備蓄が重要である。機会あることに啓発する。

**問** 深溝学区の防災訓練では、巨大地震に備え隣人チームで、安否確認を実施している。安否確認板の掲出がない家は、隣人チ

**問** 町の備蓄量は、非常に約1食である。家庭での備蓄が必要だが、その推進策は。

**答** 総務部長▼町の備蓄は少量、家庭内での備蓄が重要である。機会あることに啓発する。

**問** 巨大地震が発生すれば、避難所は大混雑となる。現在の避難所数と収用者数は。

**答** 指定避難所70カ所、人数6077人。

**問** 国内の避難所は、100年同じような状況が続いている。スファイア基準を尊重し、災害関連死を生み出さない環境の構築を。

**答** 避難所を開設するだけにとどまらず、スファイア基準を尊重し、様々な方への配慮、良好な環境を整えていけるよう努力する。

**問** 南海トラフ巨大地震の備えの考えは。

**答** 町長▼この巨大地震は、全国民が恐れている。深溝学区の隣人の絆を深めることは、災害時に大切である。災害の危機意識をもっと高めていきたい。

学校体育館にエアコンの設置を

3中学校を優先し設置を進める

**問** 学校体育館の利用状況は。

**答** 教育部長▼学校利用を優先し、その他、毎日スポーツ利用で一般開放している。

**問** 学校体育館の利用は多い。早期に全学校体育館にエアコンを設置されたい。

**答** 当面、3中学校を優先し設置したい。災害時対応型のタイプを検討していく。



「家族は全員無事です」の安否確認板

ことば解説  
【※スファイア基準】  
国際赤十字が提唱する最低の基準として、個人の尊厳と人権保障の観点から示している基準。

# 尾浜川を災害に強い河川整備を



都築 幸夫 議員

## 県と協議し堤防道路の舗装実施



越水で、堤防道路がえぐられた尾浜川  
(令和5年6月3日撮影)

**問** 尾浜川流域住民が安心して暮らすために、災害に強い河川にする必要がある。尾浜川河川整備を問う。

**答** 堤防の越水が起きないよう河川断面の確保が必要。川底を掘削して深い浚渫を。建設部長▼堆積土砂を撤去する浚渫を、県に要望している。

**問** 国土交通省は、堤防決壊からの保護のため、堤防天端のアスファルト舗装を実施しているが、ご存じか。

**答** 堤体保護に有効な手法の一つと認識している。

**問** 尾浜川流域の住民が安全安心に暮らせるよう、災害に強い河川整備を。

**答** 堤防道路のアスファルト舗装実施に向け、管理者の愛知県と協議を進める。

**問** 整備事業の進捗と今後の展開を問う。

**答** 県との協議が必要だが、河川改修に至らない区間を優先的に施行していきたい。

**問** 未整備箇所の歩道整備を、県と協力してどう進めるのか。

**答** 懸案事項の解決の見通しがたった今、事業再開を強く要望していく。

**問** 歩道の分断状態はたいへん危険である。事業再開はできないのか。

**答** 事業として終了しており、事業再開は容易でない。

**問** 歩道未整備箇所に隣接して中央小通学路の横断歩道がある。交通量が多く、人口密度の高い地域にある。押しボタン式信号機設置は必要ないか。

**答** 総務部長▼町としても、押しボタン式信号機が必要であるとの認識であり、今後とも要望を継続していく。

### 県道岡崎幸田線の歩道整備を

**問** 歩道未整備箇所の地主の方より、歩道整備に協力したいとの申し出があり、課題の用地境界確定合意を頂いた。歩道整備の今後の見通しはどうか。

**答** 地元の申し出を受け、県へ要望した結果、県としても現状は危険との認識であり、予算確保等に取り組み

**問** 県道岡崎幸田線の歩道整備事業の取り組みを町長に伺う。

**答** 町長▼愛知県への要望を、責任をもって取り組む。

県道岡崎幸田線の歩道整備事業は、岩掘差点北側で2カ所が未整備で、交通安全上危険な状況である。歩道

責任をもって県へ要望していく



のさかじゆんこ  
野坂 純子 議員

## 森林サービス産業の進め方は

### 積極的に事業を進めていきたい



人生100年時代とも言われている。誰もが生きがいを持って活躍できるまちづくりの施策を問う。

**問** 第8期幸田町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画は、どのような内容か。

**答** 健康福祉部長▼5つの基本目標を定め、それぞれの基に基本施策を定め、高齢者福祉施策を推進。

**問** その基本目標4の中に「一人ひとりが生きがいを持って活躍し、地域貢献もできる仕組み作りを進めていく」とある。具体的にどのような事業か。

**答** 主な事業は、ボランティア活動の推進、高齢者の就業の場の確保、ふれあい・いきいきサロン、生きがいデイサービス、生活支援コーディネートなど、の事業を計画実施。

**問** 主な事業の中の「シニア・シルバ―(以下)「SSS」と言(う)の事業計画の中にある地域資源とは何を示し、健康づくりとして、何をするのか。

**答** ものづくりのまちとしての働く場所、特産物を生かした農業、自然豊かな里山、ボランティア活動など、健康づくりにつながる機会の創出を行っている。

**問** 里山を生かす取り組みは。

**答** 環境経済部長▼坂崎区では再生事業、六栗区では里山の整備保全活動、里区では環境保全活動をしている。

**問** 今後、森林サービス産業の進め方は。

**答** 森林資源の活用を背景とし、健康で文化的な学びの場や、地域交流の場となるよう、事業の計画・検討・構想づくりを行う。

**問** 全国で補聴器の補助をしている自治体は。

**答** 健康福祉部長▼全国では143市町村で8・3%、愛知県内では5市町9・3%、西三河の自治体はまだ無い。

補助対象基準など調査・研究

認知症対策で補聴器の補助を

**問** 生き甲斐を持って生き生きと活躍できる町は、第9期に向けてどのように継承されるのか。

**答** 第8期計画を継承していく予定。SSSの事業においても生涯現役ができるウェルビーイングのまちづくりを目指す計画を考えている。

ことば解説  
「※ウェルビーイング」  
身体的・精神的・社会的に健康な状態で、生き生きと暮らせること。

**問** 認知症対策の一つで補聴器の補助を。

**答** 近隣自治体の実施状況等を踏まえ、補助対象基準など調査・研究していきたい。



里山での森林サービス産業





はせがわ すずむ  
長谷川 進 議員

# 行政の徹底したムダ改善を

## 役場組織の人員費削減を行う



**問** 令和4年度の決算は、町税約87億円、ふるさと寄附金約33億円の、長期安定した財源確保を問う。

**答** 大きな財源ふるさと寄附金が減少、停止になるのでは。

**問** 企画部長▼平成20年の制度発足から15年間継続し、今後の動向は不透明である。

**答** 企画部長▼平成20年の制度発足から15年間継続し、今後の動向は不透明である。

**問** ふるさと寄附金を確保し、行政の徹底したムダ改善で、労務費削減は。

**答** 総務部長▼役場組織の業務量を考え、適材適所に配置し人員費の削減をする。

**問** 行政も改善効果を、町民に見える化を、企画部長▼改善効果を測定し、町民へ見える化を推進する。

**問** 個人町民税は、人口に左右される。5万人のまちづくりに向けた、新住宅地の区画整備事業計画は。

**答** 建設部長▼令和5年から、北部地域の土地利用の検討。高力地区も駅から1km範囲で、坂崎区へ続く範囲に合わせて行う。

**問** 空き家DIYリフトを望む移住者支援を、人口増加への施策に。

**答** 空き家と土地が、流通・再利用され

る方策を、他市町の事例を見ながら研究する。

**問** 産・学・官・民で、魅力あるまちづくりプロジェクト活動は。

**答** 地元住民の方とワークショップを開催し、意見交換と情報提供を実施する。

**問** 法人町民税は、企業の努力が、行政財源となる。町としてのサポート施策は。

**答** 企画部長▼幸田ものづくり研究センターで、デジタル人材

育成、技術相談、セミナー開催をしている。

**問** 幸田ものづくり改善リーダー育成スクールは、企業と町の財源確保になるのでは。

**答** 愛知工科大学内の、仮想工場を活用した研修を、大学と協議する。

**問** 5万人のまちづくりに、新住宅地も含めた、学区全体での交流施設研究を。

**答** 総務部長▼人口の増加と、多様なニーズ等に対応し、交流を深める取り組みを検討する。

### 市街地の害獣駆除制度変更を

### 財源措置方針の活用で方針提示

市街地での害獣被害と制度改善を問う。



捕獲されたアライグマ

**問** 害獣被害が、幸田駅周辺に増えているが、被害報告は。

**答** 環境経済部長▼市街地の害獣苦情は、年間で数件、住民が直接業者へ依頼しているため、件数はもっと多くあると思われる。

**問** 害獣駆除制度は、環境変化で変えるべきでは。

**答** 国の特別交付税で、財源措置方針が示され、それを活用し害獣駆除の方針を示す。



DXを活用した改善実践道場  
(愛知工科大学内仮想工場)



岩本 知帆 議員

# 町内会・子ども会にDX導入を

## 子ども会へは導入検討



町内会や子ども会等、地域コミュニティの維持・継続に向けて、幸田町の考えと支援を問う。

**問** 行政区町内会への加入世帯割合は、総務部長▼82・2%。

**答** 加入増減は、10年前は88・8%、加入率は下落。

**問** 町内会に加入されない状況分析は。

**答** 以前に比べ、アパートなど集合住宅が増加。一戸建て住宅を建設するまでの仮住居も多い。

**問** 区長のなり手不足に対する、問題の把握と対応状況は。

**答** 区長の業務内容は多岐に渡り、以前よりも負担増。なり手

不足解消のために、町からの依頼業務見直し、負担軽減は重要だが、できていない。実効性のある手法を取り入れる必要があると認識。

**問** 行政区への依頼で業務委託など、町が担えるものは。

**答** 草刈りや集会施設、公園の管理等の業者委託も有効な手段だが、実情を踏まえた検討が必要。

**問** 子ども会の加入状況は。

**答** 住民子ども部長▼令和5年度加入は、59・7%。

**問** 子ども会の課題把握は。

**答** 役員の負担感増大、コロナ禍のイベント中止により運営ノウハウが継承困難、加入率の低下によるドッジボール・ソフトボール

チーム編成困難を把握。

**問** マニュアル電子化等、役員の業務量軽減・課題解決に向けたDX導入支援を。

**答** DXを導入し負担の軽減を検討する。

**問** 児童クラブ利用時間の拡大を

ニーズがあれば検討する

子育てしながら安心して働ける環境整備に

関して、放課後児童クラブの現状を問う。

**問** ※小1の壁に対する幸田町の対策と対応は。

**答** 住民子ども部長▼令和5年度の新1年生の入会希望者は4月1日から受け入れた。

**問** 放課後児童クラブの開始を早めてほしいとの声があるが、利用時間は。

**答** 長期休暇中は、午前7時45分から。



秋まつりの獅子舞を楽しむ子どもたち

ことば解説

【※小1の壁】

保育園と同時間で子どもを預けられず保護者が今までのように働けないために壁を感じることに。

育休中は定数外とし職員確保を

12月議会にて規定の制定を検討

子育て世代が安心して働ける環境整備への町の考えを問う。

**問** 育児休業中の職員を定数から外し、年間フルタイム勤務職員の確保を。

**答** 総務部長▼12月議会に定数を除外する規定を検討する。

# 小中学生のマスク着用の現状は



藤本 和美 議員



## 各家庭の判断に委ねている

マスク着用は個人の判断となったが、高温多湿下でも着用している児童生徒が見られる。

**問** 小中学生のマスク着用の現状を伺う。

**答** 教育部長▼熱中症対策でマスクを外す生徒が増えた。各家庭の判断に委ねている。

**問** 暑さや息苦しさを感じたり、体を動かすときは、外すように声かけしているか。

**答** 熱中症の心配がある場合、マスクを外すように促す。

**問** 学校で子どもは、一日8時間以上マスクをしているが、心身の成長期に長時間マスクを着用するデメリットを把握しているか。

**答** 専門家が、それぞれの立場でさまざまな意見を述べていると把握している。

**問** 健康な子どもに長時間のマスク着用は不要と考えるが、子どもたちは着用のデメリットを把握しているか。

**答** 熱中症対策は指導しており、子どもも理解している。

**問** 人の目が気になったり、精神的な理由でマスクが外せない子どもはいるか。

**答** 調査はしていない。

**問** 「子どもが学校生活でだけマスクを外せない」と保護者から相談を受けたら、学校はどう対応するのか。

**答** 教育部長▼マスクの有無で差別や偏見がないように指導する。

### 安全な学校給食の考えは

#### 安全な食材の調達に努める

**問** 食材や調理方法のこだわりの基準はあるか。

**答** 教育部長▼地場産物や郷土料理を盛り込み、着色料や発色剤は使用しない。鯉節からだしを取るなど、化学調味料は使わない。

**問** 米の農薬使用状況と残留農薬検査の実施状況を伺う。

**答** 環境経済部長▼基準を遵守して殺虫



子どもたちの輝く笑顔

剤、殺菌剤、除草剤を使用し、残留農薬分析をJAが実施する。

**問** ゲノム編集、遺伝子組み換え、昆虫食などの使用はあるか。

**答** 教育部長▼ゲノム編集は確認が難しい。遺伝子組み換えと昆虫食は使用しない。

**問** 安全な学校給食の考えを伺う。

**答** 教育部長▼安全な食材の調達に努め、安心安全な給食を実施する。

#### LGBT理解増進法の運用は

#### 全ての住民が住みやすい環境に

**問** LGBT理解増進法の運用を伺う。

**答** 企画部長▼町民の理解を深めながら、誰もが住みやすい環境

づくりに取り組む。

**問** 保護者の理解が進まない段階で、行き過ぎた性教育が実施されないか。

**答** 教育部長▼学習指導要領に基づき実施している。

**問** 他市町で起こった、女性や子どもの人権を脅かすトラブルを防ぐ方策を伺う。

**答** 企画部長▼多くの事例の情報収集をしながら慎重に対応し、LGBTに関する情報を正しく発信する。

ことば解説  
【※LGBT理解増進法】  
性的少数者に対する国民の理解を増進することを目的とした法律。



たきょう つよし 議員  
田 毅

# 避難所開設の課題解決策は

## 関係部局と迅速な協議連携



**避難所、学校、保育園など連携が課題。災害時の安全・円滑な避難体制構築を問う。**

**問** 避難所への移動手順は安全で円滑に避難可能か。

**答** 総務部長▼幸田町 避難情報の判断・伝達マニュアルを定める情報発令。移動は徒歩の他、自家用車を想定。

**問** 6月2日避難所開設における課題解決策、混乱を発生させないしくみづくりは。

**答** 建設部長▼町道驚田アンダーパス通行止め誘導対策モデルは作成。アンダーパス冠水通行止め情報は、タウンメール等で周知。総務部長▼地元区長と対応している。今後高

**答** 今後、課題に関して協議すべき問題である。関係部局間の迅速な協議連携を図る。

**問** 相見駅東エリア冠水状況を踏まえ、地域内の交通誘導の在り方、住民が安心できるしくみづくりは。

**答** 建設部長▼道路驚田アンダーパス通行止め誘導対策モデルは作成。アンダーパス冠水通行止め情報は、タウンメール等で周知。総務部長▼地元区長と対応している。今後高



冠水した市街地の道路

台にある民間事業者等の協力を呼び掛けたい。

**問** 通行止め情報発信は高評価。ハザードマップへ画像表示は。

**答** 建設部長▼道路冠水についてSNS活用、画像位置表示方法など、企画政策課と調査研究を進める。

**問** 避難行動要支援者をはじめ、住民の命を守る対策は。

**答** 個別避難計画の作成を進めている。

**問** 県道アンダーパスの通行止め予防は。

**答** 錦田アンダーパスの排水改善したが根本的な解決は難しい。

**問** 菱池遊水地の稼働が恒久対策だが、稼働を早める考えは。

**答** 県と連携し一日でも早い完成となるよう事業推進したい。

### 更なる産業・地域活性化を

令和6年4月に条例施行を目指す

中小企業が活躍できる環境づくりは、地域活性化に直結。アフターコロナを見据えた産業・地域活性化が課題。

**問** 中小企業振興基本条例の制定状況は。

**答** 環境経済部長▼令和5年4月末現在、16町村のうち5町村が制定。西三河管内10市町のうち5市。蒲郡市が令和4年4月に施行。

**問** 行政の役割、条例制定による効果は。

**答** 町の主体的な姿勢・責任が明確となる。問題を表面化させ、迅速な対応に結びつく。

**問** 町民の理解協力が必要だが、課題は。

**答** 条例をどう作り、どう動かしていくのが課題である。

**問** 更なる産業・地域活性化を実現する、中小企業振興基本条例を制定すべき。

**答** 令和6年4月条例施行に向け動いており、理念型条例制定を目指したい。

**問** 条例の理解や実効性の課題を解決する推進体制は。

**答** 支援施策等を考える推進検討会設置もイメージしている。

**問** 改善のPDCAサイクルを回し続ける計画は。

**答** 継続的に実行していくことが重要と考えている。

# 福祉産業建設委員会

協議会  
8月7日

## 幸田中央公園の今年度整備概要が示される



整備予定の中央公園

**問** 町民の利便性や安全性などに配慮された駐輪場2カ所、休憩所(シエルター)および駐車場に関する、詳細検討・設計を行う。

**問** 工事費が割高と聞かが見込みは。

**答** 現状を調査し検討。予算内で設置を考える。

**問** カフェ誘致の状況は。

**答** 10月にヒアリングを予定。町から土地を借り、建物を作ってもらいたい。

令和4年度清掃事業  
概要の報告を受けた

**問** プラごみの分別方法変更後の状況は。

**答** 町民へ浸透不十分のため周知したい。

**問** コロナ禍により集団回収できずに団体の収益が減少。単価引き上げの考えは。

**答** アンケートを実施し検討したい。

**問** 集合住宅のゴミステーション設置方針および、指導状況は。

**答** 町の一定要件のもと、オーナーにて設置後、町への申請により回収ルートに入る。

**問** ゴミを出しやすい路線化方式導入は。

**答** 将来に向けて考えたい。  
(その他7項目を協議)

管内視察  
8月28日

## し尿・浄化槽汚泥処理 および下水処理の現状視察



浄化のしくみを聞く委員

農業集落排水から公共下水道への接続が進むなかで、本町の廃棄物処理のしくみや、施設運営などを視察した。

蒲郡市下水道浄化センター

施設のしくみは、各家庭や工場などから排出された汚水が下水管によって浄化センターに集められ、活性汚泥法によって浄化を行い、水質の安全を管理した状態で、三河湾へ放流する。

清幸園衛生処理場

施設は昭和63年3月に竣工し、30年を超えて稼働している。

令和4年度本町の生し尿と浄化槽汚泥の投入割合は全体の33.7%にあたる。

近年、施設設備の老朽化に対応し、将来的なし尿・浄化槽汚泥の処理方法を検討し、調査結果を基に、蒲郡市下水道浄化センターへの直接投入・処理する方法への転換を計画している。



機器の機能を確認する委員

# 総務教育委員会

協議会  
8月8日

## 企業誘致に向けた 施策案が示される

新たな企業立地優遇  
制度の検討・基金条例  
制定に関して協議した。

**問** 他市の企業誘致制  
度の動向は。

**答** 建物建設・機械取  
得などの費用を、  
10〜20%補助。

**問** 新たな優遇制度補  
助率40%の根拠は。  
**答** 近隣市と比較し劣  
らない制度とした。

**問** 予算に問題はない  
のか。

**答** 3〜5年に分割し、  
支給予定。予算確  
保の基金条例を今年度  
には制定したい。

**問** 企業誘致の整備に  
企業庁だと10年。  
早急な整備のためには  
民間開発が必要。町と  
しての方針は。

**答** 企業のニーズを見  
据えながら検討し  
ていく。



整備中の須美前山工業団地

ことば  
解説  
【※ラーケーション】  
愛知県「休み方改  
革」小中学校の校外  
学習活動のこと。

ラーケーションの日が  
10月より開始

**問** ※ラーケーション制  
度利用中の学習保  
障を、タブレット等の  
活用で補習は。

**答** 特別の教材や個別  
対応はない。

**問** 利用後の保護者が  
らの報告は。

**答** 特に求めない。  
(その他5項目を協議)

# DX推進特別委員会

協議会  
8月3日

## デジタル化(DX)推進の 取り組み始まる

6月議会で設置した  
特別委員会にて、町民  
の利便性向上、役場職  
員の業務効率化、議会  
改革への取り組みを進  
める。

**問** 町民が、窓口に行  
かない行政サービ  
スを実現するには。

**答** 現在の住民票申請  
に加え、他市町の  
事例を参考に進める。

**問** 窓口で戸惑わない  
ように進めるには。

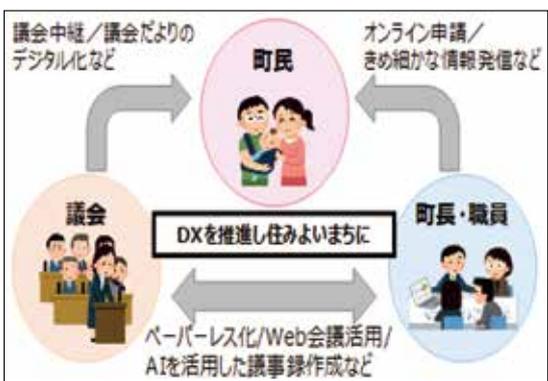
**答** ペーパーレス化や  
議会中継配信のリアル  
タイム化等を進める。

**答** 紙はすぐに廃止せ  
ず、きめ細かな説  
明を実施する。

**問** 職員の業務効率化  
の目的は。

**答** 将来、ごこの自治  
体も人口減と職員  
不足になるので、効率  
化は必須。

**問** 議会のDX化の進  
め方は。



推進が始まるDXのしくみ

議会広報特別委員会 その1

行政視察・研修会報告

住民視点の広報誌づくりへ



議会広報研修会を受講する委員たち

令和5年4月から、議会広報特別委員会は、委員長をはじめ新しいメンバーでスタートした。中でも新人議員を含め初めての広報委員が5人と多く、たいへん貴重な視察・研修会となった。

住民視点で、手に取って読んでもらえる議会だよりを創るために、この経験を活かして、新しい委員の新しいアイデアを取り入れながら、より一層読んでもらえる広報誌にしてい

8月9日(水)  
愛知県町村議会  
研修会



金ヶ崎町議会だより

名古屋市中区丸の内アイリス愛知において午後1時から4時まで、県内から28市町村の議会広報に係わる議員と議会事務局関係者が参加した。

講師は議会広報パートナーの芳野政明氏で、「住民に読まれ、伝わり、議会の見える化へ」と題し、広報の基本と編集についての講演があった。

本町の議会だよりに対するクリニックでは、レイアウトへの指摘や隙間の使い方に工夫が必要ではと指導をいただいた。

8月24日(木)  
岩手県金ヶ崎町  
議会視察研修

18年連続受賞を続けている、岩手県金ヶ崎町の議会広報誌の創り方を学ぼうと、現地に赴いた。

幸田町議会広報特別委員会は、5年前にも訪れている。

それは、議会広報誌の編集方針と記事の内容がとても参考になるからである。

まず、表紙は子どもが宝という金ヶ崎町のこだわりを象徴しているように、毎号双子の写真を掲載し、町のみなさまの心を掴んでい

ることがよく分かる。編集のモットーである、ありのままに解りやすくを前面に出し、議会広報編集の12か条の方針を決め、それに沿った広報誌創りをしている。

他市町からの視察が多い事は当然で、機会があればまた訪れてみたいと思う。

8月25日(金)  
令和5年町村議会  
広報クリニック



本町の議会広報誌で講義する様子

東京千代田区の全国町村議員会館で開催。

講師はグラフィックデザイナーの長岡光弘氏で、本町の議会だより188号で、丁寧な指導をして頂いた。

本町は第1分科会10町2村の12自治体の中で、住民視点の広報誌であるための講演と、各自治体のクリニックを受けた。

# 初めての行政視察・研修会に参加して

## 新人委員の声



岩本委員

**購読率30%から80%を目指して**

岩本知帆 委員

議会の活動内容が児童・生徒からご年配の方まで、幅広い年代に届く議会広報になるよう、視察で学んだことを活かしSNSを活用します。

また、みなさんが参加する広報作り・議員と双方向でつなぎ、購読率を80%に。幸田町議会の見える化を目指します。

**議会広報行政視察に参加して**

吉本智明 委員



吉本委員

議会広報編集委員に就任して4か月、編集のイロハもよく理解できていない状態で参加した研修でしたが、金ケ崎は広報コンクールで受賞の常連であり、編集モットーの、ありのままに解りやすく、議員の力で、スピード発行とあり、実際に見て分かりやすく、素晴らしい広報誌だと感心させられ、とても参考になりました。

**優秀議会広報の行政視察をして**

長谷川進 委員



長谷川委員

新人の議会広報特別委員として、全国でも有名な議会広報誌の金ケ崎町を視察し、多くの気付きと広報委員の熱意に感動した。

優秀な広報こそ読者の気持ちになって、専門用語を使わない、色使いもシンプルが見やすく、読みたくなることに繋がるとう理解した。今回学んだ事を、議会広報作成に展開を図って行く。

**タネも仕掛けもある議会広報誌**

藤本和美 委員



藤本委員

広報誌の作り方の一つとして、決まったやり方にこだわることなく、常に新しい手法やデザインに挑戦し、ユーザーも忘れないことを教わりました。

講師からの、「読まない広報誌は発行する意味がない」この言葉を胸に刻み、議会広報誌に少しずつ変化となるスパイスを加え、読みやすい紙面作り挑戦します。

**初めて視察研修に参加して**

野坂純子 委員



野坂委員

初めて、遠方の岩手県金ケ崎町議会の広報作りの研修に参加しました。金ケ崎町は全国318町村議会の広報コンクールで、何度も入選。視覚的な要素を活かし、短い文を使い、誰もが読みやすく、理解しやすいものを作る努力を長い間続けて来られたことに、感動しました。

また、2日間同行する中で、他の議員さんたちの良いところをいっぱい発見でき、より団結して良い広報作り、つなげて参ります。

## 幸田町の よいところ

荻谷小学校6年  
たけうち はるひ  
竹内 春陽さん



幸田町はよいところがたくさんあると思います。

1つ目は、優しい人がたくさんいるところ  
です。あいさつをすると「暑いから気を付けてね」と優しく声をかけて、温かく見守って  
くださる方がいます。

2つ目は、自然がいっぱいあるところ  
です。私たちが通う荻谷小学校には、大きなやまも  
もの木と芝生の運動場があって、緑に囲まれ  
て生活できます。

3つ目は、食べ物がおいしいところ  
です。特産品の筆柿やなすが給食に出てきて、とて  
もおいしいです。私は、特に筆柿パンが大好  
きです。

こんなふ  
うによい  
ところがた  
くさんある  
幸田町が大  
好きです。



## 幸田町の 好きなところ

中央小学校6年  
たかぎ りんたろう  
高木 凜太郎さん



ぼくが幸田町で一番好きなところは、自然  
が豊かなところです。幸田町には、名前の通  
り幸せな田んぼがたくさんあります。田植え  
から収穫までの時期には、毎年きれいな緑色  
の景色が広がり、収穫後の田んぼでは年の初  
めに「こうた凧揚げまつり」が行われます。  
中には4メートルを超える大凧もあり、迫力  
があって、すごくかっこいいです。

また、不動ヶ滝も好きな場所の一つです。  
冷たくきれいな水には、サワガニがいて、運  
がいいとリスにも  
会えます。近くには  
バーベキュー場もあ  
り、本当にすてきな  
場所です。

幸田町がこれか  
ら  
も自然豊かなすて  
きな町であってほ  
しい  
です。



まきのつぎお  
挿絵：牧野次男さん（芦谷）

### 議会広報特別委員会

委員長 田境 毅

副委員長 廣野 房男

委員 都築 幸夫 岩本 知帆 長谷川 進  
野坂 純子 吉本 智明 藤本 和美

### 幸田町議会だより No.190 2023.10.26発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会  
発行責任者 ● 議長 藤江 徹  
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1  
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970  
Eメール gikai@town.kota.lg.jp  
幸田町ホームページ http://www.town.kota.lg.jp/

## 議会を傍聴してみませんか

【場所】 役場5階 【時間】 午前9時から

### 【12月定例会の予定】

- 11月30日(木) 開会、議案の説明
- 12月 4日(月) 一般質問
- 5日(火) 一般質問
- 8日(金) 議案の質疑
- 11日(月) 議案の質疑
- 13日(水) 福祉産業建設委員会
- 14日(木) 総務教育委員会
- 18日(月) 議会運営委員会
- 20日(水) 討論、採決、閉会

日程は変更される可能性があります。議案、一般質問、質疑については、幸田町議会ホームページで随時公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151 (直通)